

二十四節気は、半月ごとの季節の変化を示しています。さらに5〜6日ずつ分けて気象や動植物の変化を知らせるのが七十二候です。

平成29年
2017 9月

1 金	てんちはじめてさむし 天地始肅
2 土	こくものすなわちみのる 禾乃登
3 日	怪談スタンプラリー 最終日
4 月	休園日
5 火	
6 水	
7 木	くさのつゆしろし 草露白
8 金	
9 土	写真展「はな子のいる風景」 (-10/15)
10 日	
11 月	休園日
12 火	せきれいなく 鶺鴒鳴
13 水	
14 木	
15 金	はくろ 白露
16 土	
17 日	
18 月	つばめさる 玄鳥去
19 火	
20 水	
21 木	
22 金	
23 土	かみなりすなわちこえをきこむ 雷乃収声
24 日	
25 月	休園日
26 火	
27 水	
28 木	むしかくれてとをふさぐ 蟄虫坏戸
29 金	
30 土	

処暑

白露

秋分

初代ゾウ舎 (年代不明)



①ソメイヨシノ ②ソメイヨシノ (現在はありませぬ) ③ソメイヨシノ ④ソメイヨシノ (現在はありませぬ) ⑤ソメイヨシノ ⑥ハナミズキ



2017年 現在



ゾウ舎とはな子とサクラ

井の頭自然文化園で戦後最初に作られた動物舎は、1954(昭和29)年に来日したアジアゾウ、はな子のために作られた木造のゾウ舎です(左上)。その際に4本のサクラ、ソメイヨシノ①③④⑤が植えられました。1977(昭和52)年に東側に寝部屋を移したコンクリート製の現在のものに改修されました(左下)が、サクラはそのまま残りました。

はな子が亡くなる2016(平成28)年まで、実に多くの来園者が、はな子を背景に記念写真を撮りました。母に背負われて、遠足で、恋人と、友人と、家族で、孫と…サクラは、その光景とはな子を見つめて大きくなりました。はな子が居なくなった後も、この景色を見つめながら、春には綺麗な花を咲かせて、来園者の目を楽しませてくれます。

写真展「はな子のいる風景」

2017年9月9日[土] - 10月15日[日] (予定)
会場：井の頭自然文化園・彫刻館 (9:30 - 16:30)
共催：武蔵野市吉祥寺美術館

*武蔵野市吉祥寺美術館・井の頭自然文化園
共催プロジェクト「はな子の記録と記憶を集める」応募写真の一部を展示いたします。

